



第8号 平成29年3月発行

日に日にあたたかくなり、春の気配がすぐそこまで来ています。今年は、インフルエンザが大流行と言われていましたが、予防接種の効果もあってか病児室ドリームをご利用して頂いたお子さんも少なかったようです。一年の締めくくりとして今年のご利用が多かった病気は、やはり感冒でした。次に胃腸炎、RSウイルス感染症といった疾病でした。

本年度もご利用ありがとうございました。

#### ☆胃腸炎について

##### 感染性胃腸炎

- ・原因:ロタウイルス、ノロウイルス、アデノウイルス、サボウイルスなどのウイルス (カンピロバクターなどの細菌)
  - ・症状:嘔吐と下痢、時に白色下痢を呈する。発熱、脱水症、けいれん
- ##### ウイルス性胃腸炎感染予防
- ・感染経路:感染者の便や吐物からの経口、接触感染、飛沫感染もある。
  - ・予防法:手洗い (特におむつや吐瀉物の処理後)
  - ・吐瀉物や便の処理。
  - ・衣類を介しての接触感染にも注意。
  - ・消毒は→アルコールは無効で、次亜塩素酸が有効。
  - ・ロタウイルスは一番重症になるが、ワクチンが出来た。

##### ロタウイルスワクチン

- ・生後6～24週までに接種 (飲むワクチン)
- ・接種時期が遅れると、腸重積の副作用が出る可能性があるため早く!
- ・費用も高価なワクチンだが、これから生まれる赤ちゃんにはお勧め!

#### ☆RSウイルス感染症について

RSウイルス (呼吸器に親和性のあるウイルス)

- ・年長児は軽い感冒症状→赤ちゃんに感染して重症化。
- ・乳児期にはほとんどの赤ちゃんがかかる。
- ・症状:発熱、咳、鼻汁、喘鳴 (いつもよりひどいカゼ)
- ・潜伏期:4～6日
- ・数日の発熱の後に喘鳴などが出て来る
- ・呼吸困難、脱水などによる入院例も多い。
- ・新生児、乳児早期にかかるとう無呼吸をおこすこともある→SIDSの原因の一つともいわれる。
- ・冬季に多かったが、今年は夏から流行し、季節感がなくなってきている。

(まなこどもクリニック 原木真名先生の資料より引用)



#### ☆最近の病児室での様子

幼稚園児や小学生で、『午睡の習慣がないので...』と保護者の方によく伺うのですが、給食後お腹も一杯になったところで布団を敷き、カーテンを閉め、電気を消し優しいCDをかけるという環境を設定してあげると自然と入眠しているお子さんが多いです。やはり病気の時にご利用いただいているので、少しの時間でも体を休めてもらえるよう心掛けています。

一度病児室をご利用していただくと、朝泣いて入室したお子さんも体調が戻ったお子さんも「明日もまた来たい」と言ってくれるのが嬉しいです。

げんきキッズクリニック



げんきゆめほいくえん

## 病児保育室 ドリーム

山梨県中巨摩郡昭和町河東中島748-1

TEL:055-268-5578 FAX:055-268-5598

<http://www.genkikids-clinic.com/>

ホームページより各種用紙 (登録申込書・利用申込書・連絡票) がダウンロードできます。